

## 令和6年度小城市子ども・子育て会議（第2回） 議事録

- 開催日時 令和6年9月30日（月）午後6時30分～午後8時00分
- 開催場所 小城市役所大会議室（西館2階）
- 出席委員 山田会長、金田委員、庄島委員、船津委員、古川（明）委員、田中委員、古川（教）委員、八頭司委員、圓城寺委員、鳥越委員、嶋田委員、小林委員、園田委員（計13名）
- 欠席委員 草場委員、高山委員、永松委員、勝原委員、永田委員（計5名）
- 事務局 池田福祉部長  
田中教育部長  
社会福祉課：久保課長、原副課長、土井子育て支援係長、原田主査、淵上主査、村岡主事  
健康増進課：右近課長、辻母子保健係長、淵上保健師  
保育幼稚園課：於保課長、南里副課長、松尾保育幼稚園係長  
教育総務課：西課長、古川学事係長、小田主事
- オブザーバー 株式会社 ぎょうせい 2名
- 傍聴者 0名

### 【会議次第】

1. 開 会
2. 部長あいさつ
3. 議題
  - (1) 第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
    - ①幼児期の学校教育・保育の提供 資料1  
〈参考資料〉 利用状況の内訳 資料1-1
    - ②地域子ども・子育て支援事業 資料2  
〈参考資料〉 放課後児童クラブ入級者数 資料2-1
  - (2) (仮称)小城市こども計画に向けた児童・子育て世帯・若者へのアンケート・ワークショップの結果について
    - ①アンケート結果について 資料3, 4, 5
    - ②高校生ワークショップについて 資料6
  - (3) (仮称)小城市こども計画について
    - ①計画の骨子について 資料7
    - ②計画総論部分について 資料8
4. その他
5. 閉 会

## 1. 開会

会議の出席者数等を報告（条例の一部を読み上げる）

## 2. 部長あいさつ

（池田部長）

皆さんこんばんは。

福祉部長をしております池田です。

よろしくお願いします。

本日は夕方、日が暮れるのも早くなり、暗くなってからの開催となりましたが、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日の子ども子育て会議は、まず、現在の計画であります、第2期小城市子ども・子育て支援事業計画の昨年度の実績報告、今年度の中間報告をさせていただきます。

次に、来年度からを計画期間とする小城市こども計画の策定に向けて、各種アンケート結果の分析及び高校生を対象にしたワークショップを実施しておりますので、その報告をさせていただきます。

このアンケート、ワークショップの結果を踏まえて、本日は、最後に、こども計画の骨子、計画の総論部分をお示しさせていただきます。

盛りだくさんの内容となっておりますが、委員の皆様には、小城市の子どもたちのために、忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 3. 議題

議事について、進行を事務局から山田会長に交代。

### (1) 第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について 資料1、1-1、2、2-1

事務局：第2期計画の進捗状況について、令和5年度及び令和6年度の途中経過について、実績の報告を行う。

会長：説明について、質問・意見はありませんか。

会長：待機児童についての説明があったが、資料に待機児童に関する記載がないため、議論がやりにくい。今後資料作成時に検討してほしい。

委員：放課後児童クラブの実態状況が分かりにくい。

委員：待機児童について、入ることが出来なかった放課後児童クラブの定員に空きが出た場合、待機児童に対して連絡等が入るのか。

事務局：放課後児童クラブで退級が出て空きが出た場合、待機児童世帯へ連絡を取り、入級されるかどうかの確認を取っている。

### (2) (仮称) 小城市こども計画に向けた児童・子育て世帯・若者へのアンケート・ワークショップの結果について

#### ①アンケート結果について

資料3、4、5

#### ②高校生ワークショップについて

資料6

オブザーバー：①アンケートの集計結果や特徴的な点、分析方法等について説明を行う。

②高校生ワークショップの結果について、資料を基に説明を行う。

会長：説明について、質問・意見はありませんか。

委員：若者アンケートの回答率が20.9%と低くなっているが、回答率が低いことで計画に影響などはないのか。

オブザーバー：小城市だけではなく年代別でその年代の提出率が低くなっている。今回の回答率（数）についても、統計的に全く無効というような低さではなく、ある程度の信頼がある数値ということが出来る。

ただし、今後、こちらの世代の方たちにより多くアンケート回答を提出してもらえるようにするのが課題である。

会 長：今回、A層・B層等については全てパーセンテージ比較となっているが、それぞれの母数の差によって結果が大きく変わる場合がある。比較としては理解できるが、実際の事業や対応を行う場合には、気を付けなければいけない場合がある。

### (3)「(仮称)小城市こども計画」について

資料7、8

#### ①計画の骨子について

#### ②計画総論部分について

オブザーバー：①資料7を用いて、現計画から次期計画で拡充する項目等を中心に説明を行う。

②計画案第1・2章について、こども施策を取り巻く国の法制度の変遷やそれに伴う、計画の位置づけや小城市の状況等を中心に説明を行う。

会 長：説明について、質問・意見はありませんか。

委 員：資料8 第2章(3) こどもを取り巻く様々な状況のうち、18歳未満の障がい者手帳の所持者数について、身体と療育のみ掲載されているが、出来れば精神の分の数字も欲しかった。

会 長：資料7 第5章 2 「困難な状況をもつ」という表現について状態を表す「困難な状況にある」という表現がよいのでは。

委 員：子どもの災害(防災)に対する内容や人権についての内容を入れなくて良いだろうか。

山田会長より事務局へ進行を交代

#### 4. その他

晴田幼稚園の閉園(令和9年3月末)について、報告あり

#### 5. 閉会

